

SaiWai

5月号

vol.13

May 10, 2012



川崎幸病院
044-544-4611(代)



川崎幸病院中原分院
044-433-4343(代)
044-433-4393(受診予約)



川崎幸クリニック
044-544-1020(代)
044-511-2112(受診予約)



さいわい鹿島田クリニック
044-556-2720(代)
044-556-2722(受診予約)

ご自由にお持ちください。

新・川崎幸病院が実現する高度先進医療 第2回 **1~4**
『**消化器病センター**』

最新鋭の治療・診断装置を導入します… **3**
消化器病センター看護部…………… **4**

栄養科便り…………… **5**
『**医食同源レシピ**』第13回

皆様へのお知らせ…………… **5**
『**重症救急病床の行方**』

川崎幸クリニックリポート…………… **6**
新病院開院とともに川崎幸クリニックはこうなります!

川崎幸病院 新築移転いたします!
『**内覧会のご案内**』

～石心会グループの理念～

- ・ 医学的根拠に基づく高度な医療
- ・ 患者さん主体の医療
- ・ 地域に密着した医療



5月の花：菖蒲
花言葉は
「やさしい心」です



21世紀型医療・福祉ネットワーク
石心会グループ

新・川崎幸病院がいよいよ6月1日に新築移転オープンいたします。
新病院開院を目前に控えたシリーズ企画として、
地域で最高水準の医療を目指す、新病院の「高度先進医療センター」を
毎月で紹介してまいります。

ここが
変わる！

新病院の
消化器病センターは

第2回



消化器病センター・外科

センター長から
皆様へ

川崎幸病院 副院長
消化器病センター長
外科部長

関川 浩司 医師



消化器病センターが提供する医療

消化器病センターは、消化器内科・内視鏡部門、
消化器外科部門の2つの部門で構成され、2007年
設立以来、①消化器腫瘍疾患（食道がん、胃がん、
大腸がん、すい臓がんなど）に対する高度専門医療の
提供②吐下血、急性炎症、腸閉塞をはじめとした消
化器の急性期疾患に対する24時間の対応を基本と
しております。

消化器内科・内視鏡部門

消化器内科・内視鏡部門は、主に内視鏡を用いて
消化器疾患の検査・治療を行っております。内視鏡機
器は、鮮明な画像により消化器がんの診断能力が高い
拡大内視鏡、NBI（狭帯域光観察）などの先進機器を
導入しております。また、2011年よりカプセル内視鏡を
導入し、これまで「暗黒大陸」と言われ検査が困難であ
った小腸出血などの検査に威力を発揮しています。さらに、

早期のがんについては、内視鏡の先端から電気メスを出し、
がんを切り取る難易度の高いESD（内視鏡的粘
膜下切除術）という治療も実践しております。また消化
管出血に対する止血など、消化器疾患の緊急の処置
にも24時間365日体制で対応しております。

消化器外科部門

消化器外科部門では、消化器腫瘍外科、内視鏡外
科、腹部救急外科を柱とし、各種学会治療ガイドライ
ンに沿った標準的な消化器腫瘍外科手術および抗がん剤
治療を実践しております。そして高度な医療技術を求め
られる腹部内視鏡外科を胃がん、大腸がん、ヘルニア、
胆石、虫垂炎、消化管穿孔、腸閉塞など広い領域で
積極的に応用しております。さらには腹部急性期疾患に
対しては24時間体制の手術対応を行っております。また
外科分野では消化器外科に加え、乳がんに対しても高
いレベルの診断、治療の提供を行っております。

消化器病センター医師

スタッフは消化器外科10名、消化器内科
7名、内視鏡部門5名で構成されています
(2012年4月時点)。消化器病センターは、
「高度専門医療」、「24時間、急性期疾
患に対する消化器内科、外科的治療」、「患
者さんにわかりやすい医療」の提供を基本
方針とし、実践しております。





消化器病センターが 治療する主な病気

消化器 内科 部門

①悪性腫瘍

食道がん、胃がん、大腸がん、すい臓がん、
肝細胞がんなど

②良性疾患

胃・十二指腸潰瘍、胃腺腫、大腸ポリープ、
炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン）、
総胆管結石、胆のう結石、肝硬変、慢性膵炎
など

③急性疾患

出血性胃潰瘍、虚血性腸炎、大腸憩室炎、
急性胆嚢炎、急性胆管炎、急性膵炎など

消化器外科 および 外科部門

①悪性腫瘍

食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、
すい臓がん、乳がんなど

②良性疾患

胆石、鼠径ヘルニア、痔核、下肢静脈瘤、
腹壁癒痕ヘルニア、乳腺腫瘤など

③急性疾患

急性虫垂炎、イレウス（腸閉塞）、
消化管穿孔性腹膜炎、大腸憩室炎、気胸など

新病院の消化器病センターはここが変わる

新病院の消化器病センターは設備などの拡充により、より充実した医療を提供していきます。今まで患者さんに提供してきた「高度先進医療」、「チーム医療」、「患者さんにわかりやすい医療」を新病院ではさらにバージョンアップいたします。

① 内視鏡センターの拡充

●内視鏡とは？

胃や大腸などの消化器の検査・治療をする医療機器です。先端に小型カメラがついた細い管を口や肛門から体内に挿入し、胃や大腸のようすを見ながら検査します。レントゲンなどとは違い、実際に目で見る検査ですので、早期がんなどの発見に大変有効な検査です。

●早期がんは内視鏡で治療が可能

最近では、内視鏡を使った治療も行われています。内視鏡の先端から電気メスを出し、早期がんやポリープなどを電気メスで切り取る治療を行っています。早期のがんであれば、短期入院で内視鏡治療で治すことができます。がんは早期発見が大切です。

●内視鏡センターを拡充します

新病院では、現在2室である内視鏡検査室を4室に増やします。当院では、消化器疾患の緊急の処置にも24時間365日体制で対応しており、吐血、下血など消化器からの出血により救急搬送される患者さんも少なくありません。内視鏡センターの拡充により、より迅速な救急対応が可能になります。

② 手術室の拡充

消化器病センターおよび外科の手術室が1室から2室に増えます。また1室は内視鏡外科手術専用の手術室となります。

●内視鏡外科手術とは？

お腹に2～10mm程度の小さな孔（あな）を1～4か所ほど開け、カメラでおなかの中の様子を映像モニターに写しだし、この画面を見ながら特殊な器具を使って手術を行う方法です。また最近では単孔式腹腔鏡手術やRPSといって、お腹に開ける孔の数を減らし、手術後の感染症のリスクを減らし、術後の回復が早い術式を積極的に導入しています。

●内視鏡外科手術のメリット

この手術で使う器具は専用のものですので、開腹手術の経験が豊富な外科医でも熟練が必要となります。当院では、日本内視鏡外科学会技術認定医を中心とし、スタッフの多くが十分な内視鏡手術の実績を積んでおります。

この手術の最大のメリットは、開腹手術と違いお腹を大きく切らないことです。手術痕が小さいため次のメリットがあります。

- ・術後の痛みが少ない
- ・術後の回復が早く、早期退院が可能
- ・術後癒着による腸閉塞症の発症が少ない
- ・社会への復帰が早い

●日帰り手術の充実

また、手術室の拡充により、「日帰り手術」もより充実させていきます。ヘルニアなどは日帰りでの内視鏡外科手術も可能です。より患者さんの負担が少なく、患者さんの生活スタイルを大切に医療を提供していきますのでお気軽にご相談ください。

③ がん治療が強化されます

新病院では、腫瘍内科と放射線治療科と連携を取りながら、より効果的ながんの集学的治療を提供します。

●がんの3大治療法をご存知ですか？

現在行われている主ながんの治療法には、(1)外科療法、(2)放射線療法、(3)化学療法(抗がん剤療法)

があり、これらのがんの3大治療法と呼ばれています。また当院では、緩和ケアチームにより、緩和医療を必要とする方々への全人的治療の提供を行います。

●「がん」チーム医療のバージョンアップ

がん治療は、外科療法、放射線療法、化学療法の3つをうまく組み合わせることで、治療の効果が向上します。例えば、食道がん・乳がん・直腸がんに対しては手術前に放射線・化学療法(CRT)で腫瘍を小さくすることで、手術の成績の向上が期待できます。新病院では、腫瘍内科、放射線治療科とチームを組んで、より効果的ながん治療の提供を目指します。

④ チーム医療のより一層の強化

当センターでは、カンファレンスに力を入れていきます。医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ療士、医療ソーシャルワーカーなどが一堂に会し、患者さん一人ひとりにとって最適な治療法を検討しております。新病院では、カンファレンスルームも拡充し、より活発な議論・検討がなされます。私たちは常に患者さんにとって最適な治療法を検討し、提案していきます。

⑤ わかりやすい医療の提供

新病院では、患者さん・ご家族に病状や治療法の説明をするスペースの拡充をします。現病院では十分なスペースを確保できておりませんでした。新病院では、ゆったりとした環境で、図表や画像をご覧いただきながら、皆さんがご理解されるまでご説明いたします。また治療法については、各学会のガイドラインに基づき、かつ当センターの特色を活かした「入院から手術、退院後までの治療計画」をご説明しております。治療法を選択するのは患者さんご自身です。患者さん・ご家族が十分納得できるような「わかりやすい医療」を今後も提供していきます。

新病院の消化器病センターでは、より一層充実した医療を提供し、患者さんにより満足いただけるような標準かつ先進的な医療を目指してまいります。

新病院の消化器病センターは

ここから変わる!



消化器病センター看護部

消化器病センター看護科長

山口 恵子 看護師



ここが
変わる！

新病院の
消化器病センターは

●専門看護を充実させます

新病院では、緩和ケア、ストーマ(人工肛門)ケア、皮膚排泄ケアなどの専門的な看護も更に充実させていきたいと思っております。そのためには、看護師一人ひとりがスキルアップをしていくことが必要ですが、お互いに教え合い、高め合いながら、チームとしてともに成長していきたいと思っております。それが患者さんの満足度の向上につながると信じ、日々励んでいます。

●緩和ケアとは？

がん患者さんに対して行うケアのことで、痛み、倦怠感などの身体的な症状や、落ち込み、悲しみなどの精神的な苦痛を和らげるためのケアです。当院では緩和ケアチームをつかって患者さんのケアをしています。

●ストーマケアとは？

ストーマによる排泄のサポートや、ストーマ周辺の皮膚のケア、床ずれなどによる皮膚のトラブルなどへのケアのことで、当院ではストーマケアチームをつくり、患者さんのケアに取り組んでいます。
※ストーマとは、人工肛門や人工膀胱のことで、

●HCU(準集中治療室)を拡充します

新病院消化器病センターは、HCU(準集中治療室)を8ベッド設けます。HCUでは、手術直後の患者さんや、重症の患者さんを24時間体勢で集中的に管理・治療をしています。患者さんの病態が安定し、1日も早く一般病棟に戻られるように、全身全霊で看護をしていきます。



●他診療科との連携を強化します

新病院では、内視鏡部門を拡充し内視鏡センターを開設します。また、がん治療については、放射線治療を始めます。また、化学療法(抗がん剤治療)の通院治療を開始します。患者さんと関わる診療科が増えますが、各診療科間でしっかりとコミュニケーションをとり、患者さんに「入院から、検査、手術、退院まで一貫した看護」を提供できるように心がけます。

●患者さんの退院を支援していきます

また退院支援チームをつくり、退院後、他病院への転院やご自宅での療養をされる患者さんのご不安を少しでも和らげるような支援ができればと考えております。

●一期一会の精神で看護いたします

現病院で取り組んでいる「日帰り手術」を、新病院でも引き続き行います。日帰り手術とは、入院をせず、手術当日に来院し、手術経過を見ながらその日のうちに帰宅ができる手術のことです。日帰りのため、私たち看護師が患者さんと接する時間は非常に短いです。だからこそ、一瞬一瞬を大切に、「一期一会」の精神で患者さんと接していきたいと思っております。

6月1日から病院は新しくきれいになります。私たちがきれいな建物に見合うような看護が提供できるように、ますます看護の質を向上させていきます。

患者さんに「川崎幸病院に入院してよかった」とおっしゃっていただけるような「安心・安全の看護」を提供していきたいと思っております。





鯖(さわら)の梅ソースかけ【第13回】

～栄養のプロの医食同源レシピ～



栄養成分(一人分)

エネルギー	107kcal
タンパク質	15.8g
脂質	3.5g
塩分	1.9g

川崎幸病院 栄養科：
管理栄養士 須藤 タ佳

<作り方>

- 鯖に塩コショウをふって少しおく。
大根はすりおろしておき、水を切る。さやえんどうは茹でておく。
- 鯖の水分を取り、片栗粉をまぶす。フライパンにサラダ油を熱し、さわらを入れて両面とも色よく焼く。
- 耐熱皿に梅ソースの調味料をすべて入れ、電子レンジで30秒ほど温めます。器に盛り付け、完成!!

完成!

材料(2人分)

鯖(一切れ80g)	2切れ
塩コショウ	適量
片栗粉	適量
油	小さじ1杯
大根	40g
さやえんどう (梅ソース)	15g
梅干	1個(種は除く)
だし汁	大さじ1杯
料理酒	大さじ1杯
みりん	大さじ1杯
醤油	大さじ1杯

梅干に含まれるクエン酸について

クエン酸は乳酸の生成を抑制し、疲労の回復、肩こりや筋肉痛の防止、神経疲労の予防に効果があります。又、体液をアルカリ性に保ち各種の病気を予防すると言われています。

こんな人にお勧め!!

☆疲労しやすい人、運動量の多い人、気力が衰えている人、体調が良くない人、肩こりや筋肉痛になりやすい人

<クエン酸を多く含む食品>

- 温州みかん ●夏みかん ●レモン
- グレープフルーツ ●もも ●イチゴ
- パイナップル ●キウイフルーツ

*梅干1個に2g、減塩の梅干でも1.2gの食塩が含まれているので食べ過ぎには注意してください。高血圧予防では1日6g以内が推奨されています。

Topics

「重症救急ベッド確保」のための署名活動 経過報告

昨夏は、「川崎市重症患者救急対応病院」の募集に対し、川崎幸病院を唯一の対応病院に決定するよう川崎市に求める署名にご協力頂きましてありがとうございました。

署名数は最終的に82,735名にのぼり、川崎市に提出しましたが、おかげさまで、3月28日に開かれた「川崎市地域医療審議会」におきまして川崎幸病院を唯一の対応病院として指定することが承認された旨、連絡がございました。

このような成果を得たことはひとえに皆様のご協力の賜であると心より感謝しております。また、増床の対象となる新・川崎幸病院も完成致しましたのでお披露目(内覧会)にはぜひご来臨下さるよう併せてお願い申し上げます。

新病院でも「断らない救急」を実践し、年間救急車受け入れ1万台を目標にしていきます。

お知らせ

- 川崎幸病院は、署名活動の目的としていた唯一の「川崎市重症患者救急対応病院」に決定しました。ご協力ありがとうございました。地域の皆様のご支援に感謝します。
- 病院は、本年6月1日をもって新築移転オープンします。
- 新病院でも、「断らない救急」を実践し、且つ新しく増える62床のベッドを活用して年間救急車1万台(市内トップ)の受け入れを目標にします。
- 新・川崎幸病院内覧会のお知らせ 平成24年5月20日(日) 新病院内にて
内覧会受付時間 9:30~15:30



新・川崎幸病院開院に向け、 川崎幸クリニックも気持ちを新たに!

川崎幸クリニックは、新・川崎幸病院開院後も現在地にて変わらず診療いたします。

1 診療体制を強化しました

●診察室を増やしました

川崎幸クリニックでの受診を希望される方は増え続けておりますが、診察室の不足により、ご期待に応えられないことも少なくありませんでした。そこで、新たに3階に診察室を1室増設し、午前中は健康診断専門の外来、午後は一般診察室として使用しています。今後も混雑している診療科を優先して診察室を増設していきます。

●専門外来を強化します

今年はまず泌尿器科外来の増設を行いました。6階の診察室を改修し、週に計6回の診察枠を増やし、男女年齢問わず増加傾向にある様々な泌尿器の不調に対応いたします。また、心療内科も東邦大学大森病院にご協力いただき、昨年度の倍以上の患者さんの診療が可能になりました。

●施設機能を充実させていきます

また今年は、検査の迅速な実施により力を入れています。血液検査の部門では、甲状腺疾患やがんの判定などの検査についても本格的に院内で開始いたします。これにより、今まで結果が出るまで数日かかっていたところを、90分以内で結果をお知らせできるようになります。併せて、一般的な生化学検査（各臓器の状態を知る上で重要な検査）の迅速化や、上部内視鏡（胃カメラ）の分野も増設していきます。

当クリニックの方針の一つである『診察』⇒『各検査』⇒『治療方針の決定・治療開始』をより短時間で実施していきます。

2 新しいサービスを始めます

●シャトルバスの運行が始まります

川崎幸病院の新築移転と同時に、JR川崎駅⇔川崎幸病院⇔川崎幸クリニック間にシャトルバスを運行い



たします。シャトルバス運行により、少しでも皆さまの通院のご負担が軽減できればと考えております。

●メディカルコンシェルジュを増員します

昨年4月からサービスを開始した「メディカルコンシェルジュ」は多くの患者さんから好評を頂いております。今後は「メディカルコンシェルジュ」のスタッフを増やし、より多くのご要望に応えていきたいと考えております。

■『メディカルコンシェルジュ』のサービス

院内のご案内、各階の移動や受診手続きのお手伝い、外国語の対応、当日の車椅子の手配、事前予約など。

3 いざという時のために私たちに出来ること

●災害時対応を強化いたします

大規模災害時には、多くの負傷者、被災者が想定されます。重症患者さんについては川崎幸病院で対応させていただきますが、中軽傷の患者さんは当クリニックで受け入れていきます。

■対策を強化し大規模災害に備えております

- ① 自家発電装置の整備(燃料備蓄の増強)
- ② 飲料水、食糧の確保
- ③ 医薬品の用意(外傷処置、長期服用薬、各種ワクチンなど)
- ④ 仮設トイレの設置
- ⑤ 帰宅困難者用の寝具の設置

職員の防災訓練も火災を中心とした訓練から、地震・水害などより大規模災害を想定した訓練に内容変更してまいります。

川崎幸病院の新築移転とともに、川崎幸クリニックも、気持ちを新たに、より良い医療サービスの提供を目指します。

内覧会に お越しく下さい



新病院内覧会日時

5月20日

日曜日

9:30 ~ 17:00

予約不要

参加自由

於：新・川崎幸病院

川崎市幸区大宮町31番地27

★受付時間は9:30～15:30になります。

- 事前予約の必要はございません。当日、新病院まで直接お越しく下さい。
係りのものがご案内いたします。
- 当日は大変混雑が予想されます。お車・自転車等でのご来場はご遠慮下さい。
(駐車場・駐輪場のご用意はございませんのでご注意下さい。)
- JR川崎駅西口よりシャトルバスでの送迎をご用意しております。
- ご祝儀、お祝品、お花などはご心配なきよう固くお断り申し上げます。

ご案内マップ

シャトルバスのご案内

当日はJR川崎駅から
シャトルバスの運行をいたします。

- 川崎駅西口よりラゾーナ川崎プラザへ渡る高架の階段を下りてください。
- 「一般乗降所」よりご乗車になれます。
- 「川崎幸病院」と表示のあるシャトルバスにご乗車ください。
- 乗車場所には案内看板を持ったスタッフがおります。
- 当日は大変混雑が予想され、お並びいただいてもご乗車できない場合がございます。予めご了承いただき、お時間には余裕をお持ちください。

徒歩でご来院の方は、柳町の横断歩道橋で県道140号線をお渡りください。

新・川崎幸病院

立体歩道でご来院の方は、プリリアタワー川崎手前で階段を降り、公園の横で道路をお渡りください。係員がご案内します。

